



2007年5月30日

重要 アクサ生命は、2005年10月1日付でアクサ グループライフ生命と合併しました。従って、今期の業績資料においては、前年度との比較を容易にするために、2005年度業績について、アクサ グループライフ生命の同年度上半期の業績を合算しています。(ただし、アクサ生命の「2006年度決算(案)のお知らせ」は、全て単体での表記となっています。)

アクサ生命 2006年度の業績を発表

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 ポール・サンブソン)は、2007年5月30日、日本の会計基準に基づく2006年度(平成18年度)の業績を発表しました。アクサ生命は2006年度、688億円と安定したレベルの基礎利益を確保、また、主要顧客セグメントのニーズと収益性を両立させた新商品を開発し、販売商品構成のシフトを図りました。

アクサ生命の代表取締役社長、ポール・サンブソンは、次のようにコメントしています。「アクサ生命は、2004年度に黒字転換を達成、その後も着実に収益基盤を強化してきたが、2006年度、本業の収益力を示す指標である基礎利益は688億円と、安定した水準を確保することができた。また今年度は、死亡保障・医療・年金の3分野にフォーカスし、主要顧客セグメントのニーズに根ざした新商品を開発・投入した結果、販売商品構成が大きくシフトした。2007年1月には、リタイアメント市場を意識して、アクサのグローバルなノウハウを活用して開発した新しいタイプの円建て変額個人年金保険を発売、現時点で提携行がメガバンク2行を含む9行となり、順調に販売が拡大している」。

- 個人保険・個人年金保険の新契約の年換算保険料は、死亡保障のうち定期保険等(345億円 20.2%増)、医療・介護保障等(143億円 21.1%増)、変額個人年金保険等(92億円 60.0%増)が増加する一方、定額個人年金保険が減少(87億円減)し、14.9%減の639億円となりました。新契約高は1兆6,643億円(前年比15.9%増)となりました。
- 個人保険・個人年金保険の保有契約の年換算保険料は4,873億円(前年比0.6%減)、保有契約高は14兆6,701億円(0.8%増)となりました。解約・失効率は6.45%となりました(前年実績6.16%)。
- 保険料等収入は、6,565億円(前年比6.2%減)となりました。資産運用においては、ALMに基づく資産ポートフォリオを構築し、リスクとリターンをコントロールしつつ運用を行なった結果、資産運用収支は1,019億円(前年は1,362億円)となりました。
- 基礎利益は引き続き安定したレベルを確保し、688億円となりました(前年は775億円)。当期純利益は181億円(前年は703億円)となりました。なお、2005年度には繰延税金資産116億円(利益計上)を計上したのに対して、2006年度には109億円の法人税等調整額(費用計上)を計上しています。
- ソルベンシー・マージン比率は1,164.5%(前年は1,121.0%)となりました。S&Pの保険財務力格付け、R&Iの保険金支払能力格付けは、それぞれ「AA-」¹⁾となっています。

注: ¹⁾ 格付けは2007年5月30日現在

またサンプルソンは、今後の展開について次のように述べています。「保険金支払に関する諸問題など、保険会社の経営姿勢に対する関心と要望が高まってきているが、アクサ生命は今後も、お客さまへのサービス体制、営業担当者へのサポート体制の強化に向けて積極的に経営資源を投じ、顧客や従業員、販売パートナーなどあらゆるステークホルダーから「選ばれる企業」となることを目指していきたい」。

会計基準について

日本の会計基準は、AXA グループが連結会計で採用している国際財務報告基準(IFRS)および米国の会計基準(USGAAP)とは異なります。従って、本日発表した日本の会計基準における数値は、AXA グループの連結会計の数値とは異なります。

AXA グループについて

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア・太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場、ニューヨーク証券取引所には米国預託株式(ADS)を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

～ 本件に関するお問い合わせは以下までお願いいたします～

アクサ ジャパン ホールディング株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp>

2006年度 アクサ生命主要業績

※ アクサ生命は、2005年10月1日付でアクサ グループライフ生命と合併しました。
2005年度の新契約高等の期間業績については、アクサ生命の2005年度通期業績、およびアクサ グループライフ生命の2005年度上半期業績の合算値を表記しています。

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

(1)-1 新契約の年換算保険料

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	
			前年度比
新契約 年換算保険料	75,087	63,911	85.1%
うち医療保障・ 生前給付保障等の年換算保険料	32,779	21,627	66.0%

(注) 転換による純増を含みます。

(1)-2 保有契約の年換算保険料

(単位：百万円、%)

	2005年度末	2006年度末	
			前年度末比
保有契約 年換算保険料	490,463	487,387	99.4%
うち医療保障・ 生前給付保障等の年換算保険料	164,662	172,069	104.5%

(2) 保有契約高

(単位：百万円、%)

	2005年度末	2006年度末	
			前年度末比
個人保険	12,860,586	12,991,827	101.0%
個人年金保険	1,699,599	1,678,278	98.7%
合計	14,560,185	14,670,105	100.8%
団体保険	8,039,217	7,436,415	92.5%
団体年金保険	1,008,930	979,210	97.1%

(注) 1.個人年金保険は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合算しています
(ただし、変額個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額(既払込保険料相当額)を計上しています)。
2.団体年金保険は、責任準備金の額を表示しています。

(3) 新契約高

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	
			前年度比
個人保険 個人年金保険	1,435,875	1,664,311	115.9%
団体保険	58,218	19,391	33.3%

(注) 1.個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資を表示しています(ただし、変額個人年金保険については、初回保険料相当額を計上しています)。
2.転換による純増を含みます。

(4) 解約・失効の状況

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	
			前年度比
解約・失効高	886,399	928,464	104.7%
解約・失効率	6.16%	6.45%	104.7%

(注) 解約・失効率は年始保有契約高に対して算出した率で、復活契約高を失効契約高と相殺せずに算出しています。

(5) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	
			前年度比
保険料等収入	699,687	656,504	93.8%
資産運用収益	176,267	154,857	87.9%
保険金等支払金	471,724	468,268	99.3%
資産運用費用	40,059	52,915	132.1%

(6) 事業費

(単位：百万円、%)

	2005年度	2006年度	
			前年度比
事業費	99,990	104,888	104.9%

(注) 2005年度のアクサ生命の事業費にはアクサグループライフ生命からの業務委託に伴う費用が含まれています。2社合計ではこの金額を相殺して表示しています。

(7) 総資産

(単位：百万円、%)

	2005年度末	2006年度末	
			前年度末比
総資産	4,626,429	4,910,850	106.1%

(8) ソルベンシー・マージン比率

(単位：%)

	2005年度末	2006年度末
ソルベンシー・マージン比率	1,121.0%	1,164.5%

(9) 基礎利益

(単位：百万円)

	2005年度	2006年度
基礎利益	77,573	68,817

(10) 当期純利益

(単位：百万円)

	2005年度	2006年度
当期純利益	70,374	18,197